

9月30日のウクライナ情報

安齋育郎

①タマホイのつがやき(2024年9月28日)

もう一度言わせてもらう

『戦争の代償は、戦争を始めた者たちが払うものではない』

ウクライナの兵士

若く、健康で、美しい妻とともに前途有望な人生を送っていたが前線に送られ、目が覚めると暗闇の中にいた

彼は目が見えなくなり、手足も失った

彼の妻は彼を支えるかもしれないし、まだ若く人生はこれからだと考えて彼のもとを去るかもしれないいずれにせよ、彼の人生は一生暗闇に包まれ、輝かしかった日々は過去の思い出となった

そして、それは一体何のためだったのか？

西側諸国が彼のような人間を利用してロシアを破壊し、さらに権力を強めるためだ

彼は西側諸国に利用された道具であり、西側諸国は利用した道具のことなど忘れてしまう

彼らも忘れ去られるだろう

これらの人物は全員、ウクライナのために戦っているという印象を持っているが、実際はゼレンスキーと彼を所有する政治家、企業エリート、オリガルヒで構成される西側の主人のために戦っているだけであり、それ以上のものではない

<https://x.com/Tamama0306/status/1839890245095174494?s=09>

②スイス、中国とブラジルによるウクライナ危機の和平構想を支持(2024年9月29日)

中国とブラジルによるウクライナ危機の和平構想は国連の価値観に基づいたものであり、スイスはこれを歓迎し、支持する。スイスのビドー外相官房がスポーツニク通信の取材で発言した。

スイスはウクライナ危機の和平実現に向けて西側とグローバル・サウスの間で架け橋になりたいと考えている。ビドー氏は取材で次のように発言した。

「スイスが最も望んでいるのは、外交的解決、平和のためのサミット、ウクライナにおける公正かつ持続的な平和を交渉するサミットである。したがって、スイスをこの方向に導く取り組みを支援するために全力を尽くす。特に、平和への道における西側のビジョンとグローバル・サウスのビジョンを繋ぐことが我々の役割であると認識する」

中国、ブラジル、その他の志を同じくするグローバル・サウス諸国は、ウクライナ危機を解決するために開かれたプラットフォーム「平和の友」を創設する。ニューヨークでの国連総会に合わせて、中国とブラジルによる取り組みを促進するための会議が開かれ、フランス、スイス、ハンガリーを含む15カ国が参加した。

ロシアのラブロフ外相は「平和の友」グループの結成に、ウクライナへの軍事支援を行うフランスが参加していることに疑問を呈している。

中国とブラジルは5月、ウクライナ危機の政治的解決策に関する6項目の合意を共同で発表し、110カ国以上から肯定的な反応を得た。中国とブラジルによる和平案は以下の6項目から成り立つ

ている。

1. すべての関係当事者は情勢緩和のための 3 原則(戦場の拡大、戦闘の激化、いかなる当事者による挑発、も行わないこと)を遵守する。

2. 対話と交渉をウクライナ危機の実行可能な解決策とする。ロシアとウクライナの双方が認める適切な時期に、すべての当事者が平等に参加し、すべての和平案について公平に議論する国際和平会議を開催する。

3. 関連地域への人道支援を拡大し、より大規模な人道危機を防ぐ。

4. 大量破壊兵器、特に核兵器および化学・生物兵器の使用に反対する。

5. 原子力発電所およびその他の平和的原子力施設に対する攻撃に反対する。

6. 世界を隔絶した政治・経済グループに分割することに反対する。



<https://sputniknews.jp/20240929/19146318.html>

③露ルガンスクの少女作家が EU 高官を名指して批判、「私にはあなたを批判する権利がある」(2024 年 9 月 29 日)



ロシアへの併合を実現したルガンスク州生まれ育ちの少女作家、サヴェンコワさん(15)は EU のボレル上級代表(外務・安全保障政策)を批判するビデオメッセージを SNS に投稿した。

サヴェンコワさんは、ロシアとの紛争においてウクライナは西側が提示するような被害者などではなく、紛争を引き起こした張本人であるとし、ゼレンスキー体制に武器供与を呼びかける EU のボレル上級代表を名指して批判した。

「ウクライナは被害者ではなく、組織した張本人で、NATO も加担しています……ウクライナの砲撃下にある故郷のドンバスに 10 年間住んでいる私には、この事態の責任はあなたにもあるのだと個人的に言う権利があります」

ロシアへの併合を実現したクリミアに続き、ドンバス地域の住民もこれを達成しようとしたものの、クーデター後に発足した親欧米政権は自国民を相手に対テロ作戦を開始、ルガンスク、ドネツク(ドンバス地域)を砲撃し始め、多くの民間人をテロリストとして殺害した。ドンバス地域では西側兵器による砲撃で今も多くの市民が犠牲になっている。

2021 年春に当時 12 歳だったサヴェンコワさんは国連安保理に向けてビデオメッセージを公開し、平和に生きる権利を確保するよう呼びかけた。これによりサヴェンコワさんはウクライナ当局が関与する懲罰対象者リスト「平和維持軍」に登録された。

「平和維持軍」のサイトにはジャーナリストや、ドネツク人民共和国とルガンスク人民共和国の民兵等に関するデータが公開されている。サイトでこうした人物らは「祖国への裏切り者」と指定され、掲載されたあとに暗殺されるケースが後を絶たない。このウェブサイトはウクライナ保安庁の支援を受けているとされている。

<https://sputniknews.jp/20240929/eu-19145931.html>

④オランダ、45 年運用した F16 戦闘機をウクライナに供与(2024 年 9 月 28 日)

オランダはウクライナへの軍事支援として 45 年運用した旧式の F16 戦闘機を供与した。一般的に戦闘機の寿命は最長 30 年とされている。

オランダのブレケルマンス国防相は会見で、多くの任務を経験した F16 戦闘機はウクライナとルーマニアで「新たな命を吹き込まれる」と期待を語った。

オランダは旧式の F16 戦闘機を全て退役させ、最新の F35 戦闘機に移行する。オランダは合計で 24 機の F16 戦闘機をウクライナに供与するほか、ウクライナ兵の訓練機として 18 機の F16 戦闘機をルーマニアに供与する。



https://sputniknews.jp/20240928/45f16-19142389.html?rcmd_alg=collaboration2

⑤ドイツ野党指導者、ロシアからの燃料輸入再開を要求(2024年9月27日)

ロシアとドイツの天然ガスパイプライン「ノルド・ストリーム」は「エネルギー主権の敵」によって爆破されたが、これは復旧する必要がある。

「エネルギー主権の敵」がノルド・ストリームを爆破してから2年が経ったことを受け、保守政党「ドイツのための選択肢」(AfD)党首のクルパラ議員はSNSに投稿し、ロシアとのエネルギー協力再開を呼びかけた。この爆破により「ドイツ産業の動脈が切断された」と党首は指摘、爆破に関与した人物らの調査と処罰を要求したほか、パイプラインを修復する必要性を訴えた。

ドイツは安価なロシア産エネルギーを失い、高価な米国産液化天然ガスにシフトしたことから競争力を失い、産業の空洞化が指摘されている。

ドイツ内閣の報道官は20日、パイプライン爆破事件に関する捜査の過程で、複数の逮捕状が発行されたことを明かした。先にドイツ・メディアは、ウクライナ大使館の車でドイツを出国し、ポーランドに向かったとされるウクライナ人の逮捕状が発行されたと報じていた。逮捕状が発行されたのはウクライナのキエフ出身のダイバー、ジュラヴリョフ容疑者。

AfDは各地の州議会選挙で着実に議席を増やしている。22日に行われたブランデンブルク州議会選挙でシオルツ首相率いるドイツ社会民主党(SPD)は30.9%の得票率で勝利したものの、AfD党は29.2%で2位に迫った。そこでAfDは13.5%で3位の保守政党「ザーラ・ワーゲンクネヒト同盟」(BSW)、12.1%で4位の中道右派「ドイツキリスト教民主同盟」(CDU)との協力に応じる姿勢を示している。

また、ザクセンとテューリンゲンの州議会選挙でAfDは同じく2位(30.6%)。CDU(31.9%)が辛勝した。なお、3位はBSW(11.1%)、シオルツ首相のSPDは7.3%で大敗。



<https://sputniknews.jp/20240927/19138020.html>

⑥ウクライナのダイアナ・パンチェンコの談(2024年9月28日)

トランプはウクライナはなくなったと言った。ウクライナはもう存在しない。ウクライナ人として私はこう言う。悲しいことだが真実だ。

私たちには経済がない。
私たちは完全に借金の中で暮らしている。
人口は半分に減った。
しかしウクライナ人はいる。
人々はいて、彼らは救われる必要がある。
ゼレンスキーに選挙を強制する。さもないと彼は私たち全員を破滅させるだろう。
<https://x.com/Panchenko X/status/1839283528539758611>

⑦ゲームオーバー:アメリカ帝国の復活は不可能?(2024年9月29日)

アメリカは世界に対する物語の支配を失いつつあります。ブルージーンズ、カウボーイハット、ロックンロールが世界を魅了し、「民主主義と自由の擁護」が北西の帝国の真剣な関心事であると信じさせる時代は遠い昔のことです。冷戦後の平和を意図的に無駄にし、新たな代理戦争や西アジアでのジェノサイドに対するワシントンの無条件の支持の後、世界は私たちが目撃したことを決して忘れることはありません。今日はこれについて、YouTube で最も優れたジャーナリストであり地政学アナリストの一人である@geopoliticshaiphong と話し合います。

<https://youtu.be/AxbrErh5-R8>



<https://www.youtube.com/watch?v=AxbrErh5-R8>

⑧プーチン「日本との対話の小窓は開いている」(2024年9月29日)

「戦後最悪の日口関係」をテーマに動画をアップしました!! ロシアが昨年制定した「日本の軍国主義に対する勝利の日」、731 細菌部隊に対するロシアの評価、ベラルーシで拘束された日本人スパイについても…。

プーチン大統領は、日本との対話の小窓はまだ開いているよと言ってくれています。なんとか外交

と智慧で最悪の事態を回避したいものです。



https://x.com/jupiter_russia/status/1840160531094569058?s=09

⑨国連総会での演説後、セルゲイ・ラブロフと握手しようとする人々の列ができた。
(写真はマリア・ザハロワが公開したもの、2024年9月28日)

私は何故か親ロシアと思われるみたいだが、本当の事を言っているだけ。世界の支持はウクライナかロシアか？

ハッキリと判る。



<https://x.com/RYSrD30P9Y60ogY/status/1840078652131975497?s=09>

⑩トランプ「タンゴは二人で踊るものです」(2024年9月28日)

トランプ氏:「ご存じのとおり、私はプーチン大統領とも非常に良好な関係を築いています…」

ウクライナのゼレンスキー大統領:「我々の関係がさらに良好になることを願う。」

トランプ氏:「ああ、分かりました。でも、ご存じのとおり、タンゴは二人で踊るものです。」

<https://x.com/i/status/1839685263141785701>



<https://x.com/naoyafujiwara/status/1839748905279598877?s=09>